

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいの実武蔵村山		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	デイ利用時、基本全員に入浴の提供に取り組んでいます。入浴によって、心身の静養と保持に取り組んでいます。また施設で入浴することによって、ご家庭への介護負担を軽減し、家族団らんの時間を持つことに貢献できます。	入浴時のボディチェックを行い、身体を清潔に保つ事と、皮膚トラブル等の早期発見に取り組んでいます。	項目2と共通
2	理学療法士の常勤配置によって、利用者の身体機能の維持・向上に取り組んでいます。	リハビリ関連の研修を行い、スタッフにも知識の共有を行っています。研修動画を保護者とも共有し、役立つ情報を提供しています。	理学療法士だけでなく、すべての職員が取り組めるようリハビリプログラムを作成し、チームとして機能維持に取組む。 また、入浴中の姿勢、入浴中に取り組めるリハビリ、リラクゼーションにも取り入れていきたいです。
3	保育士による年間活動計画によって、楽しい時間・雰囲気を作り出すことができている。 障害特性を理解してプログラムを計画し、利用者を中心にスタッフと一緒に皆が楽しんでいる。	本の読み聞かせでは、静かに話を聞く姿勢作りを行っています。気持ちの切り替えができるように取り組んでいます。	平日は、入浴とおやつ、水分補給でほぼ時間がいっぱいになってしまいますが、短い時間ではあっても、「昔話し」「紙芝居」「なぞなぞ」「トランプ」といったレクリエーションを取り入れ、毎日を充実していきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規利用希望者の受け入れ態勢	職員を増員していければ、さらに若干の受け入れは可能。 放課後デイの勤務時間が夕方のため、職員採用などの難しさがある。	受け入れ態勢の効率化を高める。 職員採用に今後も取り組む。 入浴の方法をさらに検討していく。 職員のスキルをアップしていく。
2	地域交流	学期中は利用時間が短いため、地域交流の機会も設けにくい 重症心身障害児と交流できる施設の確保。 感染症予防。障がい児童と健常者では、免疫力の差があることも考慮している。	長期休み(春夏冬やすみ)を活用して、計画する。 交流できる施設を探す。 感染症対策をしっかりと実施しながら、交流を行いたい。 地域にあるボランティア等を活用していきたい。 保護者を招待できる企画は今後も継続する。
3	社会福祉協議会への参加	市内には重心の施設が少ないため、課題を共有しにくい。	連絡会では、情報収集だけでなく、情報発信できるような機会とする。 得られた情報を事業所で共有し、活用できるようにする。